

DIGITAL MEDIA NETWORK
FX series



ミニディスクレコーダー
MJ-F21

このたびは、パイオニアの製品をお買い求めいただきましてまことにありがとうございます。

本機の機能を十分に発揮させて効果的にご利用いただくために、この取扱説明書を本機ご使用前に最後までお読みください。特に「安全上のご注意」は必ずお読みください。お読みになった後は、「保証書」、「ご相談窓口・修理窓口のご案内」と一緒に保管してください。使用中にわからないことや不具合が生じたとき、きっとお役に立ちます。

取扱説明書

安全上のご注意

2ページ

接続のしかたや、操作前に知っておいていただきたいことを説明しています。

準備

音を出したり、録音したりして楽しむための説明をしています。

基本操作

便利な機能や、おもしろい機能を説明しています。

応用操作

故障かな？と思ったら
アフターサービスについて

その他

安全に正しくお使いいただくために 絵表示について

この取扱説明書および製品への表示は、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。



警告

この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。



注意

この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

絵表示の例



△記号は注意（警告を含む）しなければならない内容であることを示しています。図の中に具体的な注意内容（左図の場合は感電注意）が描かれています。



○記号は禁止（やってはいけないこと）を示しています。図の中や近くに具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。



記号は行動を強制したり指示する内容を示しています。

図の中に具体的な指示内容（左図の場合は電源プラグをコンセントから抜け）が描かれています。

安全上のご注意



警告

〔異常時の処置〕

万一煙が出ている、変なおいや音がするなどの異常状態のまま使用すると火災・感電の原因となります。すぐに機器本体の電源スイッチを切り、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。煙が出なくなるのを確認して販売店に修理をご依頼ください。お客様による修理は危険ですから絶対おやめください。



プラグを抜け



万一内部に水や異物等が入った場合は、まず機器本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。



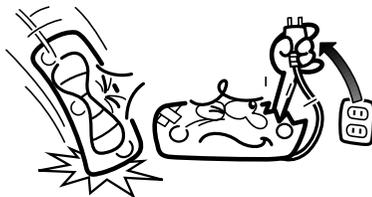
プラグを抜け



万一本機を落としたり、カバーを破損した場合は、機器本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。



プラグを抜け



もくじ

準備

基本操作

応用操作

その他

準備

基本操作

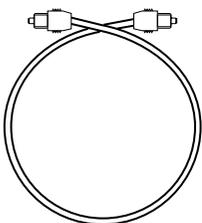
応用操作

その他

安全上のご注意	2
付属品の確認	3
MD の取扱いかた	4
接続のしかた	5
各部のなまえ	6
MD を聞く	7
MD に録音する前にお読みください	8
MD に録音する	11
MD の便利な機能	17
繰返し演奏する(リピート演奏).....	17
順不同で演奏する(ランダム演奏).....	17
好きな曲を予約する(プログラム演奏).....	18
表示を切換える	18
MD 集機能の使いかた	19
編集メニューについて / 編集メニューの選択	19
1つの曲を2つに分ける(デバインド機能).....	20
2つの曲を1つにつなぐ(コンパイン機能)..	20
曲を移動する(ムーブ機能).....	21
曲を並べかえる(プログラムムーブ機能)...	21
曲を消す(イレース機能).....	22
1曲を消す(トラックイレース).....	22
全曲を消す(オールイレース).....	22
曲やディスクに名前を付ける(ネーム機能)....	23
曲に名前を付ける(トラックネーム).....	23
ディスクに名前を付ける(ディスクネーム)...	24
故障? ちょっと調べてください	25
日ごろのお手入れ.....	26
仕様	27
アフターサービス.....	28

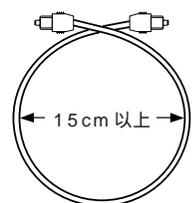
付属品の確認

光ファイバーケーブル × 1



取扱説明書
ご相談窓口・修理窓口のご案内
保証書
安全上のご注意

光ファイバーケーブル取り扱い上の注意
光ファイバーケーブルは急な角度に折り曲げたりしないでください。光ファイバーケーブルを破損する恐れがあります。ラックなどに入れるとき特にご注意ください。輪にして保管するときは直径が 15 cm 以上になるようにしてください。接続するときには奥まで確実に差し込み、不完全な接続にならないようにしてください。



MD の取扱いかた

右記マークのディスクをお使い
ください。



MD の種類について

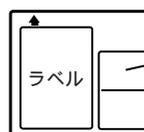
再生専用と録音・再生用があります。

- 再生専用 MD (録音はできません)



シャッターが裏面に
あります。

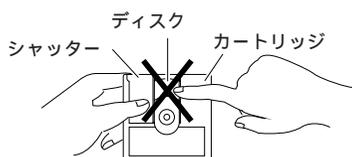
- 録音・再生用 MD



シャッターが両面に
あります。

注意

- ディスクに直接触れないでください。
- シャッターを無理に開けるとこわれます。
- 分解しないでください。



保管

- ケースに入れて保管してください。
- 次のようなところには保管しないでください。
 - 高温多湿の場所
 - 直射日光が当たる場所
 - 砂やホコリの入りやすい場所

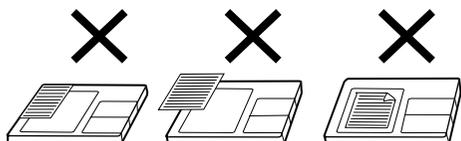
カートリッジのお手入れ

乾いた布でホコリや汚れを軽くふき取ってください。

ラベルの貼付けについて

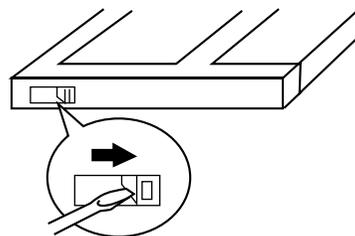
以下のことをお守りください。正しく貼られていない場合、MD が取出せなくなります。

- 指定の場所 (エリア内) に貼ってください。
- 重ねて貼付けしないでください。
- ラベルが浮いたり、めくれたりしたら新しいラベルに貼りかえてください。



録音した MD を誤消去しないために

側面にある誤消去防止つまみを開けると録音できなくなります。



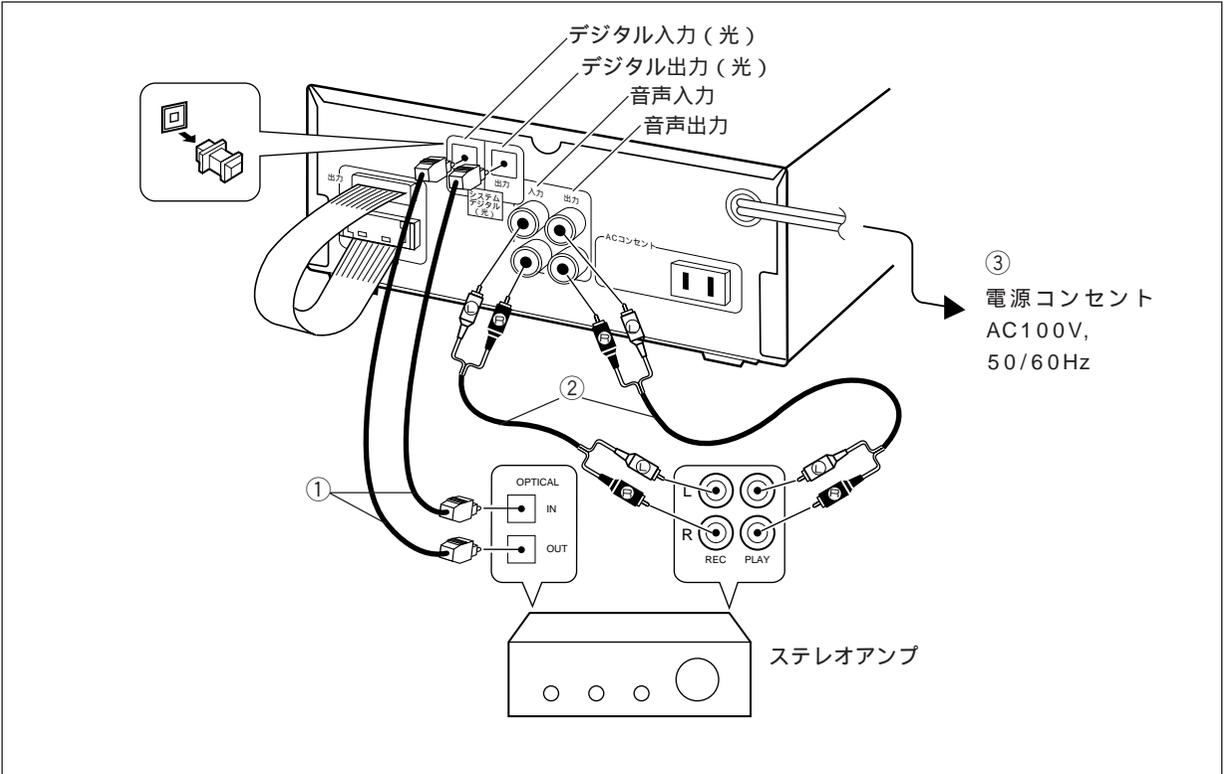
再び録音や編集をしたいときは、つまみを閉じます。



接続のしかた

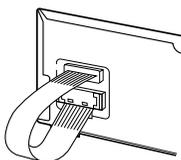
機器の接続を行う場合、あるいは変更を行う場合には必ず電源スイッチを切り、電源コードをコンセントから抜いてください。

パイオニアのコンパクトミニコンFXシリーズと組合わせて使用する場合は、別売のチューナーアンプSX-F21に付属の取扱説明書をご覧ください。



デジタル入出力による録音、再生のとき	アナログ入出力による録音、再生のとき
<p>1. 光ファイバーケーブルでアンプと接続する (①)</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 光デジタル出力端子の防塵キャップを引き抜きます。光ファイバーケーブルのプラグを端子の形に合わせ、奥までしっかり差し込みます。 	<p>1. オーディオコードでアンプと接続する (②)</p> <ul style="list-style-type: none"> ● オーディオコードを端子の色に合わせてつなぎます。必ず奥までしっかり差し込んでください。
<p>2. 電源コードを電源コンセントへ接続する (③)</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 壁の電源コンセントまたはアンプの予備電源コンセント (AC OUTLET) へ差し込みます。 	<p>2. 電源コードを電源コンセントへ接続する (③)</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 壁の電源コンセントまたはアンプの予備電源コンセント (AC OUTLET) へ差し込みます。

システムケーブルは、接続に使用しない場合には下図のようにシステム入力のコネクターへプラグを差し込んでおいてください。



注意!!

本機にはリモコンは付属していません。リモコンで操作する機能は、別売のSX-F21と組合わせて使用時にSX-F21のリモコンを使って操作することができます。

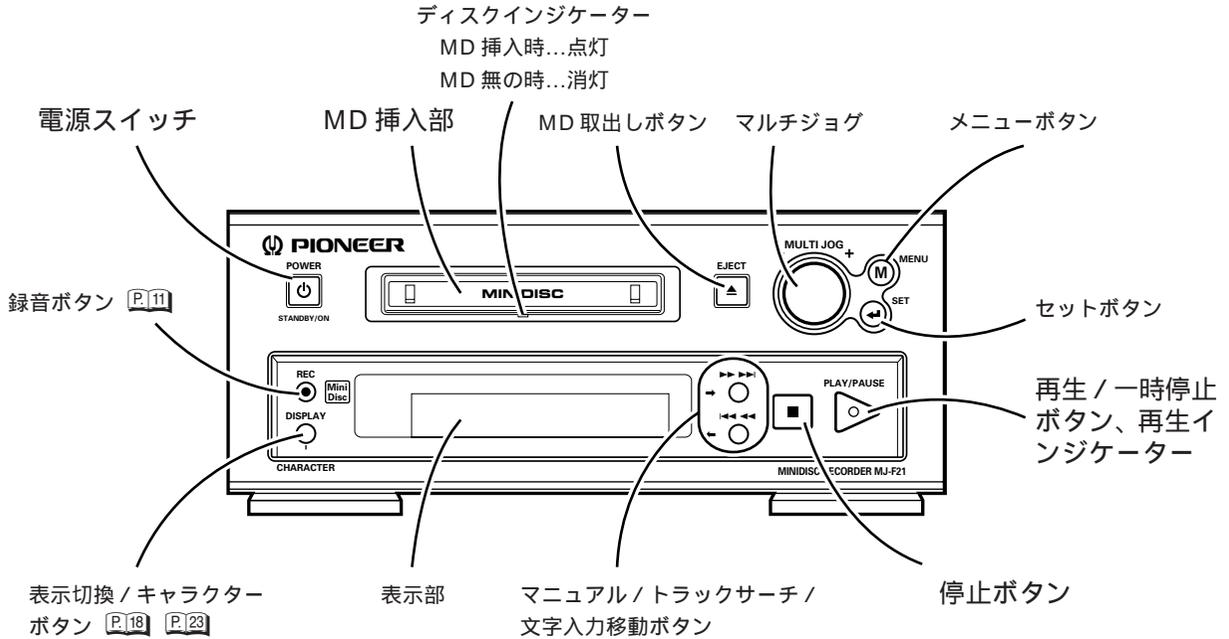
準備

基本操作

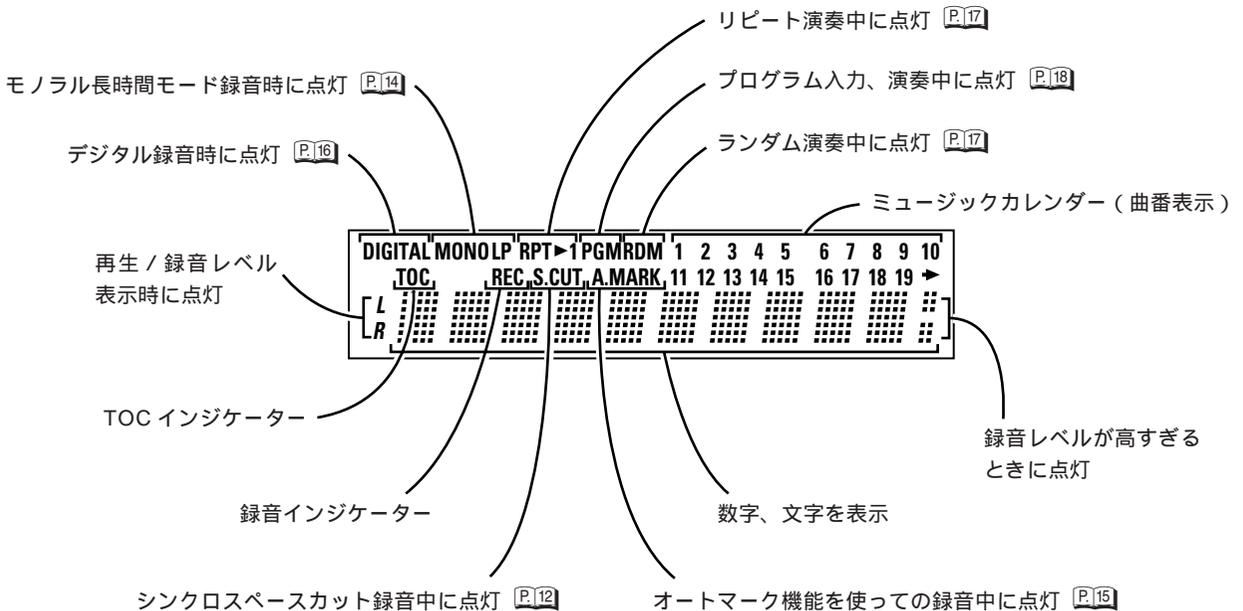
応用操作

その他

各部のなまえ

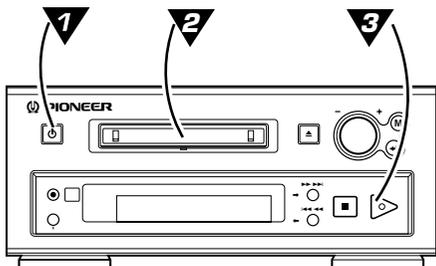


(表示部)



本機は、ドルビーラボラトリーズライセンシングコーポレーションの米国及び外国特許に基づく許諾製品です。

MD を聞く



1 曲目から順に再生する

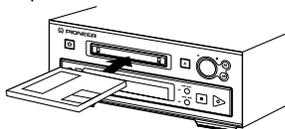
1 電源スイッチを押す

POWER



STANDBY/ON

2 MD を入れる



ラベルを上にして矢印の方向から入れます。

途中から自動的に引き込まれます。

1 曲目から再生します。

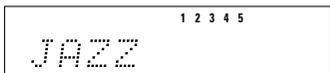
- 録音・再生用 MD では MD 側面の誤消去防止つまみが開いているときは再生をはじめます。
- 再生専用 MD では、つねに再生をはじめます。

3 再生をはじめ

PLAY/PAUSE



点灯



再生専用 MD または曲名が入力された (P23) 録音、再生用 MD の場合は、曲のタイトルがスクロール表示されます。

- 再生する前にディスクの最初に記録されている TOC 情報を読み取りますので、その間は音が出ません。

ポイント

MD の記録曲数は最大 254 曲です。ただし、録音、消去、編集をくり返すと、記録できる最大曲数が減ることがあります。この場合、全曲を消去すると元に戻ります。 P22

ダイレクトパワーオン

MDが入っている場合には、再生/一時停止ボタンを押すと電源が入って再生をはじめます。

演奏を止める	
演奏を一時停止する	PLAY/PAUSE 一時停止で点滅
一時停止から演奏を再開する	PLAY/PAUSE 再生で点灯

頭出しをする ● ボンと押します。 ● 停止中に押したときは (再生/一時停止) を押します。	
早送り / 早戻しをする ● 押しつづけます。	

聞きたい曲を選ぶ

別売の SX-F21 と組み合わせ使用時に、SX-F21 に付属のリモコンで操作できます。

ファンクションが MD のときに数字ボタンを押す

- 1 ~ 9 : 番号のボタンを押す。
- 10 : と押す。
- 11 ~ 99 : を押してから数字ボタンで番号を選ぶ。
- 100 以上 : を 2 回押してから数字ボタンで番号を選ぶ。

(例) 15 曲目
 20 曲目
 108 曲目

表示切換ボタンで表示部に残量時間や曲名(曲名を入力している場合)を表示できます。 P18

ポイント

スロットインオートプレイ
再生専用 MD を挿入すると、電源が入って演奏をはじめます。

ポイント

電源がオフのときでも、MD 取出しボタンを押すと電源が入って動作します。終了すると電源が切れます。

準備

基本操作

応用操作

その他

MD に録音する前にお読みください

MD 録音とテープ録音のちがい

- MD は片面だけの録音です。
- 録音できる場所を自動的に探して録音します。
- 録音の前に録音できる時間の残りが確認できます [P.18](#)。

TOC(Table of Contents)について

MD に録音をすると、曲番や録音場所などの情報がディスクの周部分に記録されます。再生や編集はこれらを使って行います。

デジタル録音について

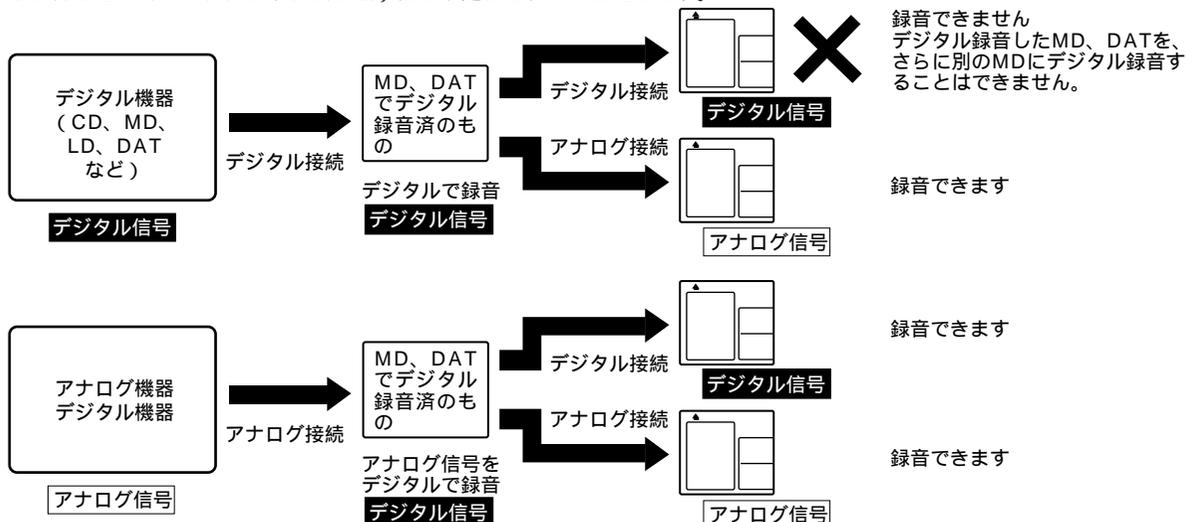
本機のデジタル録音のサンプリング周波数は44.1kHzのみです。したがって、他のサンプリング周波数の機器（BS/CSチューナー、DVDやDATの一部）を直接デジタル録音することはできません。この場合はアナログ録音に切り換えるか、別売のサンプリングレートコンバーター（FS-F21）でサンプリング周波数を44.1kHzに変換してから録音してください。なお、DVDなどでデジタルコピーが禁止されている場合には、サンプリング周波数を変換してもデジタル録音はできません。また、FS-F21では96kHzのサンプリング周波数は変換できません。このような場合にはアナログ録音に切り換えてください。

曲番号について

録音すると自動的に曲番がつけられます。追加録音するたびに順に曲番が大きくなります。

デジタルコピーに関するご注意

デジタル入力で録音したものを、さらに別のMDやDATなどにデジタル録音（コピー）することはできません。これは、SCMS（シリアルコピーマネージメントシステム）により定められているためです。



デジタル録音時

- CDからの録音は、CDの曲番と同じところに、1曲ごとの曲番が自動的につきます。
- 外部デジタル機器からの録音（CD、MD、DATなど）はアナログ録音と同様にオートマーク機能が働きます。

アナログ録音時

- 1.5秒以上の無音部分があると、曲間とみなして自動的に次の曲番をつけます（オートマーク機能）。ただし、雑音があるときなど、録音の内容によって正しい位置につかないこともあります。オートマーク機能は録音一時停止中にメニューボタンで切り換えができます [P.16](#)。

オートデジタル/アナログ切り換えについて

オートデジタルモードでは、録音するソースによってデジタル録音とアナログ録音が自動的に切りかわります。デジタル機器をアナログで録音するときは、録音一時停止中にメニューボタンで切り換えができます [P.16](#)。

注意!!

次のようなときは録音できません

- 再生専用MD（市販の音楽ソフト）に録音しようとしたとき。
- MDの誤消去防止状態になっているとき。
- MDの録音可能時間が残っていないとき。
- “TOC ^{トック} FULL”が表示されたとき。
- TOCが異常なとき。

TOCの記録中（“TOC”点滅中）に電源コードを抜いたり、本体に衝撃を与えないでください。TOCが正しく記録されず、正しい再生ができなくなります。

MD に録音する前にお読みください

録音レベルについて

- デジタル録音は、録音レベルの調整の必要はありません。
- アナログ録音時は、録音一時停止中にメニューボタンで調整します **[P11]**。

あなたが録音したものは、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上、権利者に無断で使用できません。

なお、デジタル録音機器の価格には、著作権法の定めにより、私的録音補償金が含まれています。

お問い合わせ先：（社）私的録音補償金管理協会

電話 03-5353-0336

録音中に停電すると

何も録音されていないMDへの録音中にコンセントが抜けたり、停電があると、その時の録音内容は全て消えてしまいます。すでに録音しているMDに追加して録音していた場合は、追加していた部分が消えます。

MD のシステム上の制約

MD は従来のカセットテープや DAT とは異なる方式で録音されます。そのため、録音方法や編集のしかたによって、次のような症状がでることがあります。

これらは、システム上の制約によるものですので、故障ではありません。

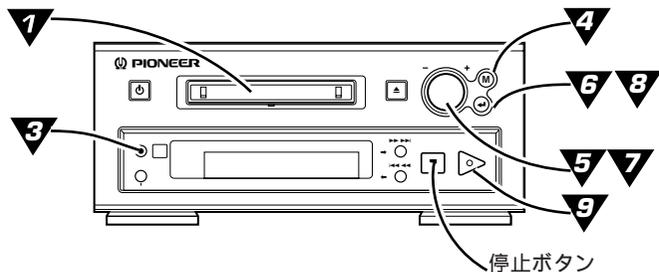
症状	システム上の制約
MD が最大曲数（254 曲）になっていないのに“ TOC FULL ”が表示されることがある。	MD では、TOC に MD 上の録音場所の区切りが登録されます。何度も部分的に消去して録音したり、編集をくり返したりすると、曲数が最大（254 曲）になっていなくても、TOC の情報がいっぱいになるので、録音できなくなります。 (このようなMDは、全曲イレース機能を行なえば最初から使用できます。)
MD の最大録音時間になっていないのに“ DISC FULL ”が表示されることがある。	ディスクにキズなどがあると、その部分は自動的に録音できなくなるため録音時間が少なくなります。
短い曲を何曲消しても録音の残り時間が増えないことがある。	録音残り時間を表示するとき、12秒以下の短い曲などは曲として数えられないことがあるためです。
MD に録音した時間と録音の残り時間の合計が最大録音時間と一致しないことがある。	通常は、1 クラスタ（約 2 秒）を録音の最小単位としていますが、これに満たない曲でも約 2 秒のスペースを使います。このため、表示された残り時間よりも実際に録音できる時間が少なくなることがあります。また、MD にキズなどがあると、その部分は自動的に録音不可となるため録音時間が少なくなります。 (録音中に“ DEFECT ”と表示され、MD の曲番が自動的に増えます。)
編集で曲と曲をつなげないことがある。	録音・編集をくり返して行なった MD では、コンバイン機能を使えないことがあります。 また、デジタル入力から録音した曲（CD や MD など）と、アナログ入力から録音した曲をつなぐことはできません。
録音された曲を早戻し / 早送りすると、音がとぎれることがある。	録音・編集をくり返して行なった MD では、早戻し / 早送り中に音がとぎれることがあります。

こんな表示が出たときは

表示	意味	処置
NO DISC	<ul style="list-style-type: none"> ● MDが入っていない。 ● MDのデータが読めない。 	<ul style="list-style-type: none"> ● MDを入れる ● MDをもう一度入れ直す。
DISC ERR	<ul style="list-style-type: none"> ● ディスクにキズがついている。 ● TOCがMDに書き込まれていないが、データに異常がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ● MDをもう一度入れ直す。 ● 他のMDと取り換える。
?DISC	<ul style="list-style-type: none"> ● データに異常がある。規格外のMDである。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 他のMDと取り換える。
DISC FULL	<ul style="list-style-type: none"> ● MDに録音できる空がない。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 他の録音用MDと取り換える。
BLANK DISC	<ul style="list-style-type: none"> ● 何も記録されていない。 (音楽のディスク名も記録されていない。) 	<ul style="list-style-type: none"> ● 再生するときは、録音されたMDと取り換える。
Playback MD	<ul style="list-style-type: none"> ● 再生専用MDに録音や編集をしようとした。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 録音用MDと取り換える。
Protected	<ul style="list-style-type: none"> ● MDが誤消去防止状態になっている。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 誤消去防止状態をもとに戻す。
TOC FULL	<ul style="list-style-type: none"> ● 曲番や文字情報(ディスク名/曲名など)を登録する空がない。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 他の録音用MDと取り換える。
Can't REC	<ul style="list-style-type: none"> ● ショックやディスクのキズで正しく録音できなかった。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 録音をやり直すか、MDを換えてみる。
TEMP OVER	<ul style="list-style-type: none"> ● 温度が高くなりすぎた。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 電源を切ってしばらく休ませる。
Can't EDIT	<ul style="list-style-type: none"> ● 編集できない。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 曲の停止位置を変えて、編集し直す。
NAME FULL	<ul style="list-style-type: none"> ● ディスク名/曲名が200文字をこえている。 	<ul style="list-style-type: none"> ● ディスク名/曲名を短くする。
DEFECT	<ul style="list-style-type: none"> ● ディスクにキズがあるため、録音がとぎれる。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 他の録音用MDと取り換える。
MECHA ERR	<ul style="list-style-type: none"> ● MDが正しく働いていない。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 電源を切って、取出しボタンを押す。
Can't COPY	<ul style="list-style-type: none"> ● コピー禁止のものから録音しようとした。 	<ul style="list-style-type: none"> ● コピー可能なもの(一般のCDなど)に換える。 ● アナログ録音にする。
NOT AUDIO	<ul style="list-style-type: none"> ● オーディオ用でないデータが記録されている。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 他の曲を選ぶ。 ● MDを取り換える。
UTOC W ERR	<ul style="list-style-type: none"> ● ショックやディスクのキズでTOC情報が正しく作成できない。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 電源を切って、もう一度書込みを試みる。 (書込み中はショックを与えないでください。)
UTOC ERR	<ul style="list-style-type: none"> ● 記録されているTOC情報がMDの規格に合っていないなかったり、読めない。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 他のMDと取り換える。 ● オールイレースをし、録音をやり直す。
Din UNLOCK	<ul style="list-style-type: none"> ● デジタル入力するとき、正常な信号が入力されない。 	<ul style="list-style-type: none"> ● デジタル入力端子に正しく接続されているか確認する。

→ 「故障? ちょっと調べてください」もご覧ください [P.25](#)。

MD に録音する



マニュアル録音する

1 MD を入れる

誤消去防止つまみが開いている MD には録音できません。

2 チューナー・アンプまたはアンプでファンクションを選ぶ

SX-F21 と合わせて使用しているときにチューナーを録音する場合は、放送を受信しておいてください。

また、ファンクション MD は選ばないでください (録音できません)。

3 停止から録音ボタンを押す

REC



録音一時停止になります。

- デジタル録音時は手順 9 へ進んでください。

4 メニューボタンを押す



- アナログ録音時に行います。

5 ジョグを回して“ REC LEVEL ”を選ぶ



REC LEVEL

6 セットボタンを押す



L + 0

7 ジョグを回してレベルを選ぶ



L R

- 録音したい機器を演奏状態にしてレベルを調整します。
- 5 段階の調整ができます。
- レベルメーターの右端、赤い部分が点灯しないようにします。

8 セットボタンを押す



再生機器を停止させてください。

9 再生 / 一時停止ボタンを押す

PLAY/PAUSE



10 録音したい機器の演奏を開始する

録音を止めるときは本体の停止ボタンを押す

注意!!

SX-F21 と合わせている場合、録音中にはファンクションの切換はできません。(録音一時停止にすれば可能です)

ポイント

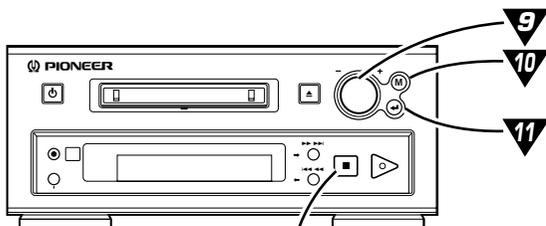
録音中に録音ボタンを押すと、そこから曲番を 1 つ増やして、別の曲として録音します。

準備

基本操作

応用操作

その他



停止ボタン

シンクロ録音する

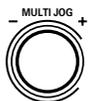
- FX シリーズ以外の外部機器（別売のファイルタイプ CD プレーヤー PD-F25 など）を録音するときに便利な機能です。
- デジタル録音、アナログ録音するときに、音楽等を再生すると自動的に MD の録音を開始し、スペースカット機能が働きます。

「マニュアル録音する」(前ページ)の
▼1 ~ ▼8 を行なってください。(デジタル録音時は **▼1 ~ ▼3** のみ)

▼9 メニューボタンを押す



▼10 ジョグを回して“ SYNCRO REC ”を選ぶ



SYNCRO REC

▼11 セットボタンを押す



S.CUT A.MARK

S. CUT と A. MARK が点灯します。

▼12 演奏を開始する

- 録音したい機器の演奏をはじめてください。
- 演奏が終わると録音一時停止状態になります。

録音を止めるときは本体の停止ボタンを押す

ポイント

スペースカット機能について

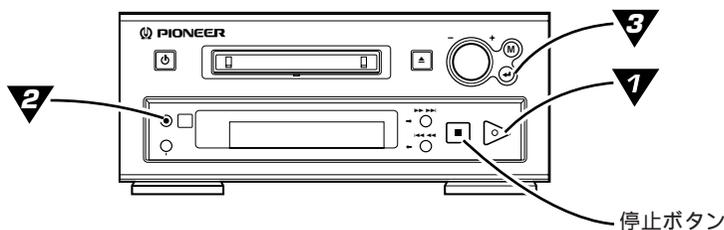
- シンクロ録音時、演奏に 4 秒以上の無録音があるときは、自動的に録音の待機状態になります。このあと演奏がはじまると録音を再開します。(4 秒間の曲間ができます)
- 演奏音の曲間に雑音があるとシンクロ録音やスペースカット機能が正しく働かないことがあります。その場合は、マニュアル録音してください。
- 非常に小さな音が 4 秒以上続く曲や、会話などはマニュアル録音を行ってください。

ポイント

シンクロ録音時はオートマーク機能も働きます。

P.15

MD に録音する



録音してある途中から録音する

新たに録音をはじめた位置以降の曲はすべて消えてしまいますのでご注意ください。

1

MD 再生中録音したい位置で
一時停止ボタンを押す

PLAY/PAUSE



再生一時停止になります。

2

録音ボタンを押す

REC



OverWrite?

録音を取り消すときは、停止ボタンを押します。

3

セットボタンを押す



SET

録音一時停止状態になります。

このあと

「マニュアル録音する」(11 ページ)
の 4 ~ 10 を行なってください。

録音を止めるときは本体の停止ボタン
を押す

注意!!

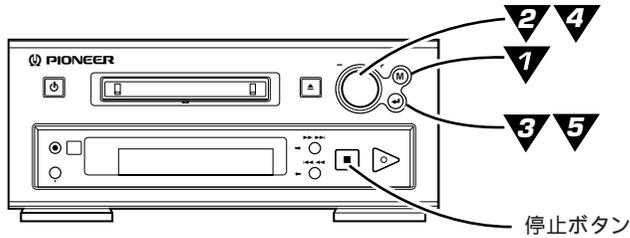
録音を開始すると、その位置以降の曲が全て消去されて、録音を行いません。

準備

基本操作

応用操作

その他



モノラルで長時間録音する

- モノラル長時間モードで録音すると、ステレオモードの約2倍の時間の録音ができます。
モノラル演奏の曲やトーク中心の番組などの録音に便利です。
- デジタル録音、アナログ録音のどちらでもできます。

「マニュアル録音する」(11 ページ)の 1 ~ 8 を行なってください。

1 メニューボタンを押す



2 ジョグを回して “REC MODE” を選ぶ



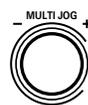
REC MODE

3 セットボタンを押す



MONO ?

4 ジョグを回して “MONO” を選ぶ



MONO ?

STEREO ?

5 セットボタンを押す



MONO を選んだとき点灯します。

MONOLP

このあと

「マニュアル録音する」(11 ページ)の 9、10 を行なってください。

録音を止めるときは本体の停止ボタンを押す

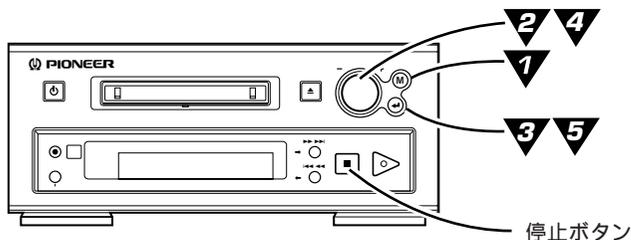


録音モードは、次に変更するまで変わりません。
モノラル長時間モードで録音した後はステレオモードに戻しておくことをおすすめします。

ポイント

- 録音中に録音ボタンを押すと、そこから曲番を1つ増やして別の曲として録音します。
- アナログ録音中は、メニューボタンで録音レベル (REC LEVEL) が調整できます。

MD に録音する



ひと続きの曲として録音する

オートマーク機能 [P] を使わずに、1回の録音を1つの曲番でひと続きの曲として録音することができます。
アナログ録音時のみ行なえます。

「マニュアル録音する」(11 ページ)の 1 ~ 5 を行なってください。

1 メニューボタンを押す



2 ジョグを回して“ AUTO MARK ”を選ぶ



AUTO MARK

3 セットボタンを押す



MARK ON ?

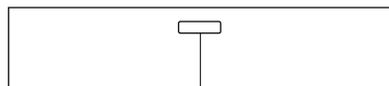
4 ジョグを回して“ OFF ”選ぶ



MARK OFF ?

MARK ON ?

5 セットボタンを押す



A. MARK が消えます。

このあと

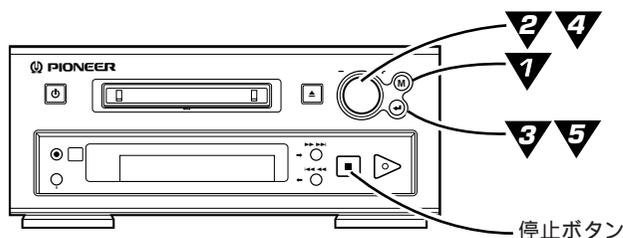
「マニュアル録音する」(11 ページ)の 9、10 を行なってください。

録音を止めるときは本体の停止ボタンを押す

注意!!

オートマーク機能のオン、オフはファンクションを変更しない限り次に変更するまで変わりません。オートマークをオフにして録音した後はオートマークをオンに戻しておくことをおすすめします。

MD に録音する



デジタル機器をアナログ録音する

オートデジタル録音モードとアナログ録音モードを切替えます。

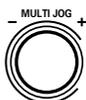
デジタルコピーされたCD-Rディスクなどをアナログ録音する場合に行います。

「マニュアル録音する」(11 ページ)の **1** ~ **3** を行なってください。

1 メニューボタンを押す。



2 ジョグを回して“INPUT SEL.”を選ぶ



INPUT SEL.

3 セットボタンを押す



AUTO ?

4 ジョグを回して“ANALOG”を選ぶ



ANALOG ?

AUTO ?

5 セットボタンを押す



DIGITAL が消えます。

このあと

「マニュアル録音する」(11 ページ)の **4** ~ **10** を行なってください。

録音を止めるときは本体の停止ボタンを押す

注意!!

録音モードは、次に変更するまで変わりません。
アナログ録音モードで録音した後はオートデジタル録音モードに戻しておくことをおすすめします。

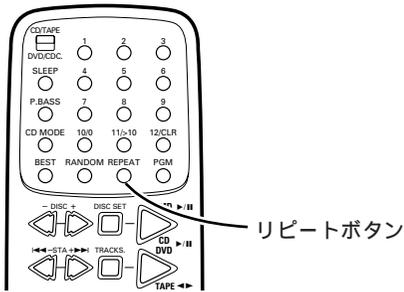
MDの便利な機能

リピート演奏
ランダム演奏

繰返し演奏する（リピート演奏）

別売のSX-F21と組合わせ使用時に、SX-F21に付属のリモコンで操作できます。

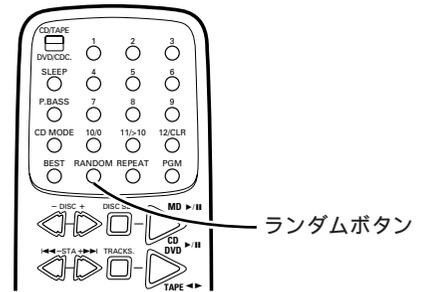
1曲だけの繰返しと、全曲の繰返しができます。



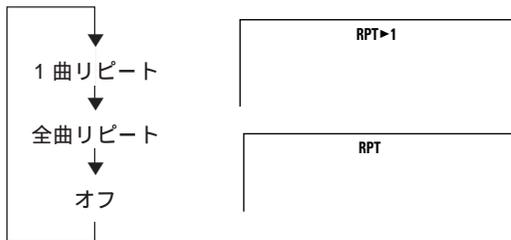
順不同で演奏する（ランダム演奏）

別売のSX-F21と組合わせ使用時に、SX-F21に付属のリモコンで操作できます。

曲を無作為に選んで1回ずつ演奏します。



ファンクションがMDのときに
リモコンのリピートボタンを押す。



繰返し演奏をやめるには

演奏を停止する (■)。
リピートオフを選ぶ (インジケーターを消す)。

- 1曲リピート中にトラックスキップ (◀◀ ▶▶) で別の曲に移ったときは、その曲を繰返します。

ファンクションがMDのときに
リモコンのランダムボタンを押す。

ランダム演奏をやめるには

演奏を停止する (■)。

ポイント ランダム演奏中に全曲リピートにするとランダム演奏を繰返します。(ランダムリピート)

ポイント ランダム演奏中にランダムボタンを押すと演奏中の曲を中止し、別の曲を選んで演奏します。

準備

基本操作

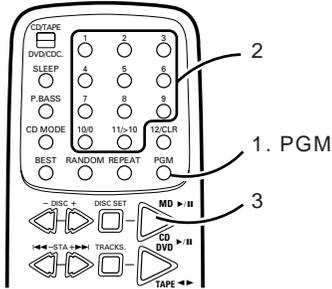
応用操作

その他

好きな曲を予約する(プログラム演奏)

別売のSX-F21と組合わせ使用時に、SX-F21に付属のリモコンで操作できます。

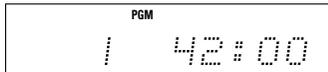
24ステップまでプログラムできます。



(例) 7 曲目、12 曲目、115 曲目の順にプログラムする

MD 停止中に

1 PGM ボタンを押す。



2 曲番を指定する。

7、11/10、1、2、11/10、11/10、1、1、5 と押しします。プログラム総演奏時間を表示します。



3 再生/一時停止ボタンを押す。



演奏をはじめます。

プログラムを取り消すには

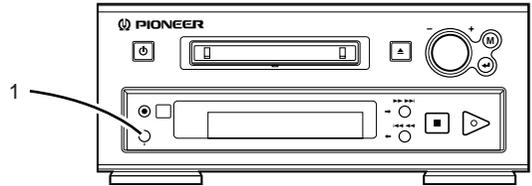
- 演奏中：停止ボタンを2回押す。
- 停止中：停止ボタンを1回押す。
- ディスク取出しボタンを押して、MDを取出す。

曲番をまちがえたときには

クリアボタン()を押します。押すごとに最後にプログラムした曲から順に消えていきます。

表示を切換える

表示切換/キャラクターボタンで表示が切換えられます。



1 表示切換/キャラクターボタンを押す。



CHARACTER

再生中の表示

- ① 曲名スクロール表示
- ↓
- ② 再生中の曲番、再生経過時間
- ↓
- ③ 再生中の曲番、曲の残り時間
- ↓
- ④ 再生終了までの残り時間
- ↓
- ⑤ 総曲数、総再生時間
- ↓
- ⑥ レベル表示
- ↓
- ①

停止中の表示

- ① ディスク名スクロール表示
- ↓
- ② 総曲数、総再生時間
- ↓
- ③ 録音曲数と録音残り時間
(録音用ディスクのみ)
- ↓
- ①

録音、録音待機中の表示

- ① 曲名スクロール表示
- ↓
- ② 録音曲番と録音経過時間
- ↓
- ③ 録音曲番と録音残り時間
- ↓
- ④ レベル表示
- ↓
- ①

再生中、停止中の①で、曲名やディスク名が付いていない時は、“NO NAME”と3秒間表示後②の表示に移ります。

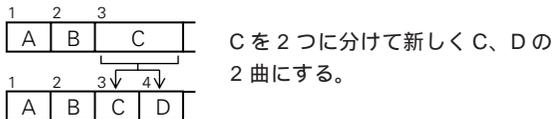
MD 編集機能の使いかた

編集メニューについて

曲順を変えたり、1曲を2曲に分けるなどの編集をして、自分だけのディスクづくりができます。次のような編集機能があります。

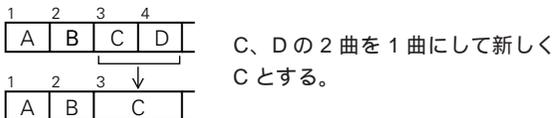
- ① ディスクや曲に名前を付ける（ネーム）
アルファベット（A～Z、a～z）数字、記号、カタカナで名前を付けることができます。

- ② 1つの曲を2つの曲に分ける（デバイド）



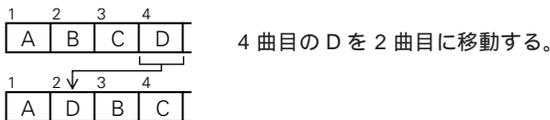
分けた曲以降の曲番は自動的に付け変えます。

- ③ 連続している2つの曲をつないで1つの曲にする（コンバイン）



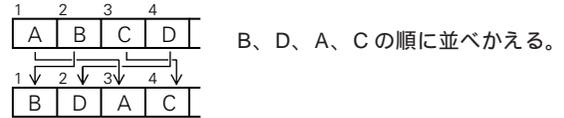
つないだ曲以降の曲番は、自動的に付け変えます。

- ④ 曲を移動する（ムーブ）



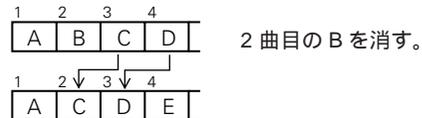
並べかえた後の曲番は自動的に付け変えます。

- ⑤ 曲を並べかえる（プログラムムーブ）



プログラム演奏で指定した順に曲を並べかえます。並べかえた後の曲番は自動的に付け変えられます。

- ⑥ 1曲または全曲を消してしまう（イレース）



消した曲は曲名ごと消えます。

全曲を消したときはディスク名も消えます。

消した曲以降の曲番は自動的に付け変えます。

CDやテープからの録音や放送を録音した曲の入ったディスクがあるときに、以下の手順で、自分だけのオリジナルディスクが作れます。

1. デバイド、コンバイン機能で曲を整理する。
2. イレース機能でいらぬ曲、トーク、CMを消す。
3. ムーブ機能で曲を並びかえる。または、プログラムムーブ機能で、プログラムした順に曲を並べかえる。
4. ネーム機能で曲名、ディスク名を付ける。

注意!! 誤消去防止つまみが開いたディスク（**P4**）では、編集メニューは使えません。編集メニューを使用する場合は誤消去防止つまみを閉じてください。

編集メニューの選択

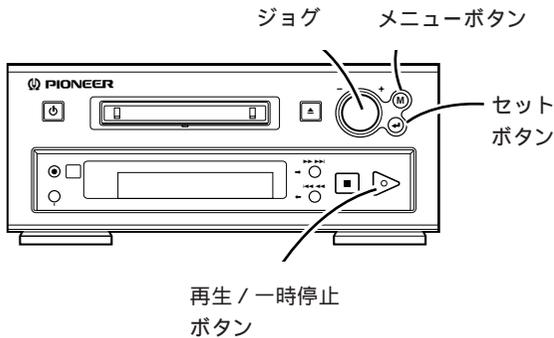
MDレコーダーの状態（動作モード）によって、編集メニューのうち、どのメニューが選択できるかは下表を参照してください。

印の編集メニューが選べます。

ディスクタイトルのネーム機能は停止中のみ選べます。

	ディスクネーム	トラックネーム	デバイド	コンバイン	ムーブ	プログラムムーブ	イレース
ディスク名表示か 総曲数表示で停止中		×	×	×	×	×	
録音中 / 録音待機中	×		×	×	×	×	×
曲番表示で停止中	×		×			×	
再生中	×		×	×	×	×	×
再生一時停止中	×					×	
プログラム時	×	×	×	×	×		×

表示切換 / キャラクターボタンで切換えます。



1つの曲を2つに分ける(デバインド機能)

(例) 3 曲目を 2 つに分ける場合

- 1 3 曲目を再生し、分けたいところで再生/一時停止ボタンを押す。
- 2 メニューボタンを押す。
- 3 ジョグを回して“DIVIDE”を選ぶ。

DIVIDE

- 4 セットボタンを押す。

DIVIDE OK?

分けて良いかを確認する表示になります。

- 5 セットボタンを押す。

“COMPLETE” の表示が出て曲が分けられます。

COMPLETE

デバインドを中止したいときは、メニューボタンを押してください。



分けた曲に曲名が付いていたときは、両方に同じ曲名が付きます。

2つの曲を1つにつなぐ(コンバイン機能)

選ばれている曲と、その直前の曲をつなぎます。

(例) 4 曲目と 5 曲目をつなぐ場合

- 1 5 曲目を再生中に再生/一時停止ボタンを押す。

停止中に◀▶ボタンを押して曲番 5 の表示に示してから操作することもできます。

- 2 メニューボタンを押す。
- 3 ジョグを回して“COMBINE”を選ぶ。

COMBINE

- 4 セットボタンを押す。

COMB 4+ 5?

つないで良いかを確認する表示になります。

- 5 セットボタンを押す。

“COMPLETE”表示が出て、4 曲目と 5 曲目が 4 曲目として 1 つになります。

COMPLETE

コンバインを中止したいときは、メニューボタンを押してください。

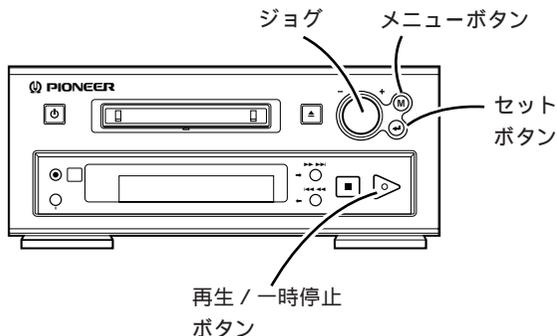
注意!!

- デジタル録音した曲と、アナログ録音した曲はつなげません。
- ステレオモードで録音した曲と、モノラル長時間録音した曲はつなげません。
- 15 秒以下の短い曲はつながらないことがあります。

ポイント

- つないだ曲に曲名がついているときは、前の曲(例では 4 曲目)の曲名がつきます。前の曲名がついていないときは後の曲名がつきます。
- 離れた曲をつなぎたいときは、ムーブ機能で曲を連続させてからコンバイン機能でつないでください。

MD 編集機能の使いかた

ムーブ機能
プログラムムーブ機能

曲を移動する (ムーブ機能)

(例) 8 曲目を 5 曲目に移動する場合

- 1 8 曲目を再生中に再生 / 一時停止ボタンを押す。

停止中に◀◀▶▶ボタンを押して曲番 8 の表示にしてから操作することもできます。

- 2 メニューボタンを押す。

- 3 ジョグを回して“ MOVE ”を選ぶ。

MOVE

- 4 セットボタンを押す。

MOVE 8+ 1?

- 5 ジョグを回して移動先を“ 5 ”にする。

MOVE 8+ 5?

- 6 セットボタンを押す。

COMPLETE

“ COMPLETE ” の表示が出て 8 曲目を 5 曲目に移動します。

曲を並べかえる (プログラムムーブ機能)

- 1 並べかえたい順にプログラムする。

プログラムのしかたは P18 をご覧ください。

- 2 メニューボタンを押す。

PGM MOVE

- 3 セットボタンを押す。

PGM MOVE ?

- 4 セットボタンを押す。

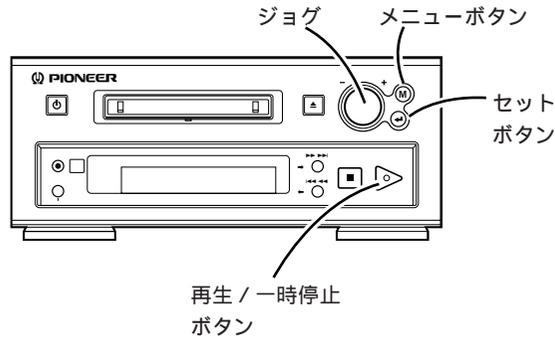
COMPLETE

“ COMPLETE ” の表示が出てプログラムした曲の順に並べかえます。

プログラムしなかった曲はプログラムムーブで並べかえた曲の後に並びます。

プログラムムーブを中止したいときは、メニューボタンを押してください。

ムーブを中止したいときは、メニューボタンを押してください。



曲を消す（イレース機能）

1 曲を消す（トラックイレース）

（例）6 曲目を消したい場合

1 6 曲目を再生中に再生/一時停止ボタンを押す。

停止中に◀◀▶▶ボタンを押して曲番6の表示にしてから操作することもできます。

2 メニューボタンを押す。

3 ジョグを回して“ERASE”を選ぶ。

ERASE

4 セットボタンを押す。

ERASE 6?

消して良いかを確認する表示になります。

5 セットボタンを押す。

“COMPLETE”の表示が出て6曲目が消去されます。

イレースを中止したいときは、メニューボタンを押してください。

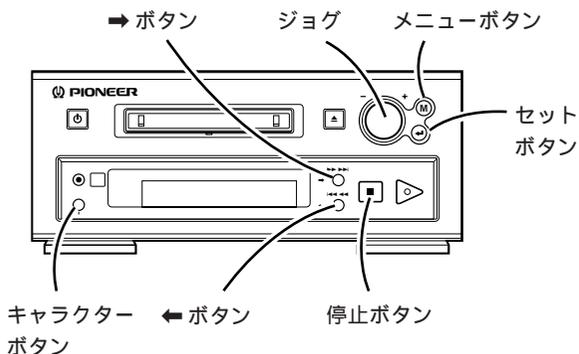
全曲を消す（オールイレース）

1 停止ボタンを押して、ディスク名表示か総曲数表示で停止させる。

2～5は1曲イレースと同じ操作です。
ただし、全曲イレースの場合は手順3で“ALL ERASE”、手順4で“ALL ERASE？”と聞いてきます。

MD 編集機能の使いかた

ネーム機能



曲やディスクに名前をつける(ネーム機能)

曲に名前をつける(トラックネーム)

(例) 5 曲目に“JAZZ”と付ける場合

1 5 曲目を再生する

一時停止や停止中に◀▶▶▶ボタンを押して曲番5の表示にしてから操作することもできます。

その場合は、2.でメニューボタンを押した後、ジョグを回して“TRACK NAME”を選んでください。

2 メニューボタンを押す。

TRACK NAME

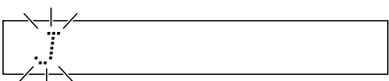
3 セットボタンを押す。



4 キャラクターボタンを押して、文字の種類を選ぶ。押すたびに切替わります。

- A~Z (大文字)
 - a~z (小文字)
 - 数字、記号
 - カタカナ
- が選べます。(P.24) をご覧ください。)

5 ジョグを回して1文字目に“J”を選ぶ。

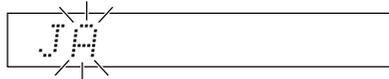


6 → ボタンを押す。

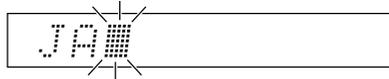
2文字目に移動します



7 ジョグを回して2文字目に“A”を選ぶ。



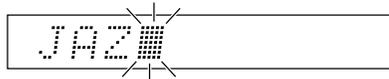
8 → ボタンを押す。



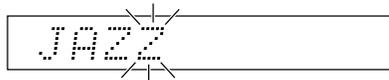
9 ジョグを回して3文字目に“Z”を選ぶ。



10 → ボタンを押す。



11 ジョグを回して4文字目に“Z”を選ぶ。



12 セットボタンを押す。

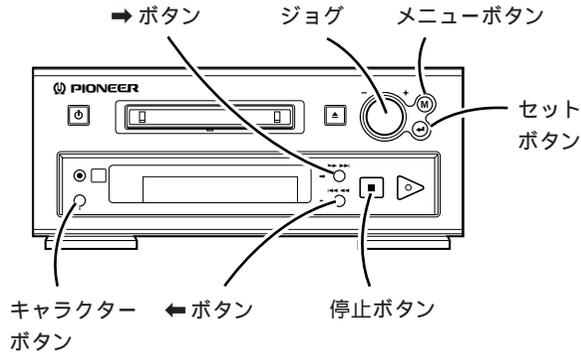
途中で操作をやめたいときはメニューボタンを押します。

注意!!

- 録音中にトラックネームを入力していて、ネームの入力が完了する前に次の曲になってしまったときは、そのときまで入力した文字は有効です。録音が終わってからつづきを入力してください。
- 再生中にトラックネームを入力中は、ネームの入力が完了する前にその曲が終了してもくり返して演奏します。

ポイント

- 文字を入れたくないときは→ボタンで次の位置へ移動してください。
- 前の位置へ戻したいときは←ボタンで移動してください。



ディスクに名前をつける (ディスクネーム)

- 1 停止ボタンを押し、総曲数表示で停止する。
- 2 メニューボタンを押す。
- 3 ジョグを回して“DISC NAME”を選ぶ。

DISC NAME

- 4 セットボタンを押す。



- 5 以降はトラックネーム (23 ページ) の 4 以降と同じように操作して名前をつけてください。

ネーム機能で入力できる文字の種類

- アルファベット (大文字):
A B C D E F G H I J K L M N O P Q R S T U V W X Y Z . , / □ (空白)
- アルファベット (小文字):
a b c d e f g h i j k l m n o p q r s t u v w x y z . , / □ (空白)
- 数字、記号:
1 2 3 4 5 6 7 8 9 0 ! " # \$ % & ' () * + , - . / : ; < = > ? @ _ ' □ (空白)
- カタカナ:
アイエオカキクケコサシスセソタチツテトナニヌネノ
ハヒフヘホマミムメモヤユヨラリルレロワ
ンアイウエオヤユョツ ° - / □ (空白)



- 1つの名前は200文字まで入力できます。
- MDに入れることのできる、最大254曲まで名前を付けることができますが、入れられる総文字数は1,792文字のため、それをこえると入力できません。
- カタカナを使うと入れられる総文字数が減ります。



- 入れた文字を消したいときは、消したい位置でスペース  を選びます。スペースは文字の種類のも最後にあります。(アルファベットのときはZの次です)
- 途中で文字の種類を変えたいときはキャラクターボタンで変えてください。

故障？ ちょっと調べてください

- 故障かな...?と思ったら、ちょっとチェックしてみてください。下の項目をチェックしても直らないときは、お近くのパイオニアサービスステーションまたはお買い上げの販売店にご連絡ください。

症 状	原因と思われること	処 置
音がでない。	<ul style="list-style-type: none"> ● 電源プラグがはずれている。 ● すべてのコードが完全に接続されていない。 ● チューナーアンプまたはアンプの入力切換が正しく選択されていない。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 電源プラグを正しく接続する。 ● 接続のしかたを参照して、正しく接続する。 ● 聞きたい機器を選択する。
録音ができない。	<ul style="list-style-type: none"> ● MD が誤消去防止状態になっている。 ● 再生専用 MD を入れている。 ● TOC がいっぱいになっている。(録音、編集を繰返すと、このようになることがあります。) 	<ul style="list-style-type: none"> ● 誤消去防止つまみを閉じる。 ● MD を入れかえる。 ● 全曲消去を行えば新たに録音できます。
モノラルで録音されてしまう。	<ul style="list-style-type: none"> ● モノラル長時間モードになっている。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 録音モードをステレオモードにする P.14
MD を入れても "NO DISC" と表示される。	<ul style="list-style-type: none"> ● ディスクにキズが付いている。 	<ul style="list-style-type: none"> ● MD を入れかえる。
音がとぎれる。	<ul style="list-style-type: none"> ● MD レコーダーが結露している。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 1 時間程待ってから再生する。
短い曲を消しても録音の残り時間が増えない。	<ul style="list-style-type: none"> ● 12 秒以下の短い曲は曲として数えないことがある。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 故障ではありません。
録音時間と残り時間をたしても最大録音可能時間にならない。	<ul style="list-style-type: none"> ● 最小録音単位が 2 秒のため、これに満たない曲でも 2 秒のスペースを使っているので合わないことがある。 ● ディスクにキズがあり、録音不可の部分がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 故障ではありません。 ● MD を入れかえる。
曲と曲をつなげない。	<ul style="list-style-type: none"> ● 録音、編集をくり返したディスクでこのようになることがある。 ● デジタル録音とアナログ録音の曲をつなごうとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 故障ではありません。 ● デジタルと、アナログはつなげません。

表示については 10 ページにも説明がありますので、ご覧ください。

- テレビを近くに設置した場合に、映像の乱れが生じることがあります。テレビで室内アンテナをご使用の場合に起こりやすく、このようなときは屋外アンテナを使用するかテレビを離して設置してください。
- 静電気など、外部からの影響により本機が正常に動作しない場合があります。このようなときは、電源コードを一度抜いて再度差し込むことにより正常に動作します。
- 本機では、別売の SX-F21 と組み合わせないと以下の動作はできません。
 - ・リピート演奏
 - ・ランダム演奏
 - ・プログラム演奏

日ごろのお手入れ

製品のお手入れについて



通常は、柔らかい布で空拭きしてください。汚れがひどい場合は水で5～6倍に薄めた中性洗剤に柔らかい布を浸してよく絞った後、汚れを拭きとり、その後乾いた布で拭いてください。

アルコール、シンナー、ベンジン、殺虫剤などが付着すると印刷、塗装などがはげることがありますのでご注意ください。また、ゴムやビニール製品を長時間触れさせることも、キャビネットを傷めますので避けてください。化学ぞうきんなどをお使いの場合は、化学ぞうきんなどに添付の注意事項をよくお読みください。お手入れの際は、差し込みプラグをコンセントから抜いて行ってください。

結露について



本機を冷え切った状態のまま暖かい室内に持ち込んだり、急に室温を上げたりしますと、動作部に露が生じ（結露）、本機の性能を十分に発揮できなくなることがあります。

このような場合には1時間ほど放置するか徐々に室温を上げてから使用してください。

仕様

仕様および外観は改良のため、予告なく変更することがあります。

記録方式	磁界変調オーバーライト方式
再生方式	非接触光学式
サンプリング周波数	44.1 kHz
周波数特性	20 Hz ~ 20 kHz
SN比	98 dB
ワウフラッター	測定限界以下
電源電圧	AC100V、50/60Hz
消費電力（電気用品取締法）.....	13W
外形寸法	190(幅)×80.5(高さ)×279(奥行)mm
重量	2.3kg

付属品

保証書	1
取扱説明書	1
安全上のご注意	1
ご相談窓口・修理窓口のご案内	1
光ファイバーケーブル	1

準備

基本操作

応用操作

その他

アフターサービス

保証書（別に添付してあります。）

保証書は、必ず「販売店名・購入日」などの記入を確かめて販売店から受け取っていただき、内容をよくお読みのうえ、大切に保管してください。

- 保証期間はご購入日から1年間です。

補修用性能部品の最低保有期間

ステレオの補修用性能部品の最低保有期間は製造打ち切り後8年です。この期間は通商産業省の指導によるものです。補修用性能部品とはその製品の機能を維持するために必要な部品です。

修理に関するご質問、ご相談は

お買上げの販売店または、最寄りの当社サービスステーションをご利用ください。所在地、電話番号は別添の「ご相談窓口・修理窓口のご案内」をご覧ください。

修理を依頼される時

もう一度本書をよくお読みいただき、ご確認のうえなお異常のあるときは、必ず電源プラグを抜いてから修理を依頼してください。

- 保証期間中の修理

万一、故障が生じたときは保証書に記載されている当社保証規定に基づき修理致します。お近くのパイオニアサービスステーションまたはお求めの販売店にご連絡ください。保証書の規定にしたがって、修理いたします。

連絡していただきたい内容

- ご住所、お名前、電話番号
- 製品名、型番、ご購入日
- 故障または異常の内容（できるだけ詳しく）
- 訪問ご希望日
- ご自宅までの道順と目標（建物、公園など）

- 保証期間が過ぎているときの修理

最寄りのパイオニアサービスステーションまたはお求めの販売店にご相談ください。修理すれば使用できる製品については、ご希望により有料で修理いたします。

お客様ご相談窓口（修理に関しては別添「ご相談窓口・修理窓口のご案内」参照）

お客様相談センター	TEL 03-3491-8181
技術相談窓口	○ 札幌 TEL 011-644-4779
	○ 仙台 TEL 022-375-4417
	○ 名古屋 TEL 052-532-1141
	○ 大阪 TEL 06-353-3705
	○ 広島 TEL 082-228-2239
	○ 福岡 TEL 092-441-8076

愛情点検



長年ご使用のオーディオ製品の点検をおすすめいたします。こんな症状はありませんか

- ・電源コードや電源プラグが異常に熱くなる。
- ・電源コードにさけめやひび割れがある。
- ・電気が入ったり切れたりする。
- ・本体から異常な音、熱、臭いがする。



すぐに使用を中止し、電源プラグをコンセントから抜き、故障や事故防止のため電気店または当社サービスステーションに点検（有料）をご依頼ください。



この取扱説明書はエコマーク認定の再生紙を使用しています。